

## 1 島外転出者向け意識調査について

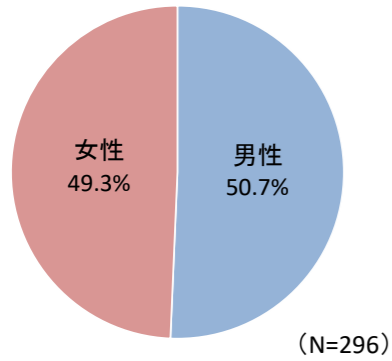
- 島出身者の島への愛着度や貢献意識、ふるさとワーキングホリデー・インターンシップへの参加意向や参加の条件等を把握することを目的に2021年10月にWEBアンケート調査を行った。

### ① 回答者の属性について

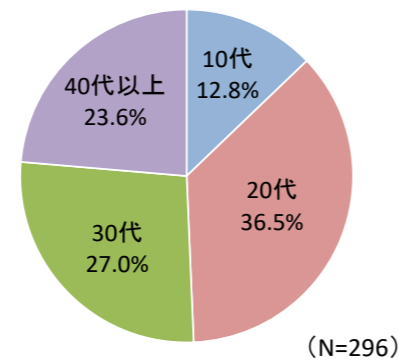
- 回答者の属性は以下の通りとなっている。

回答数:296票

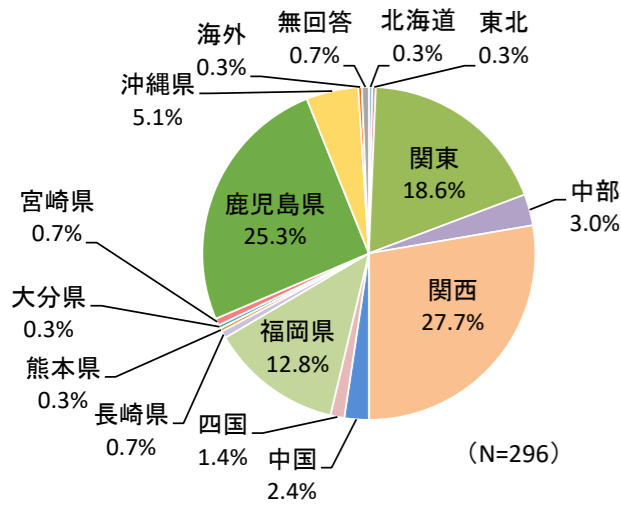
#### <性別>



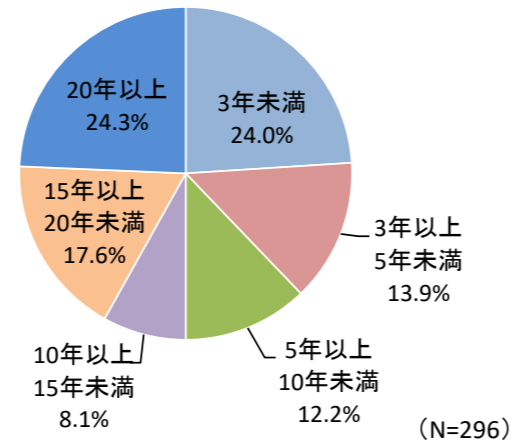
#### <年齢>



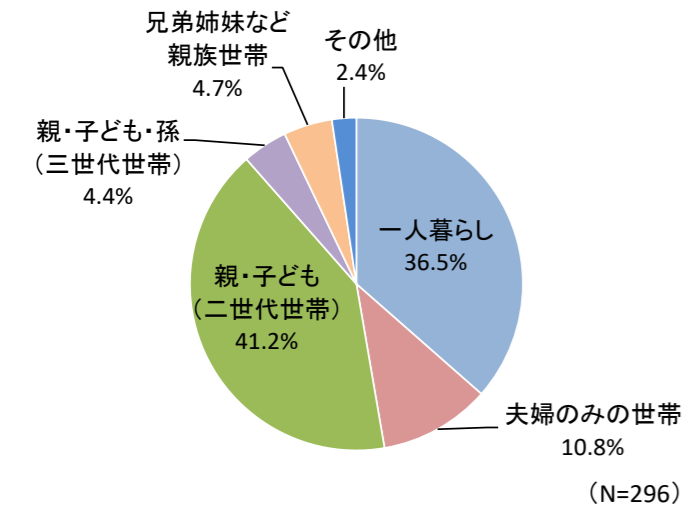
#### <居住地>



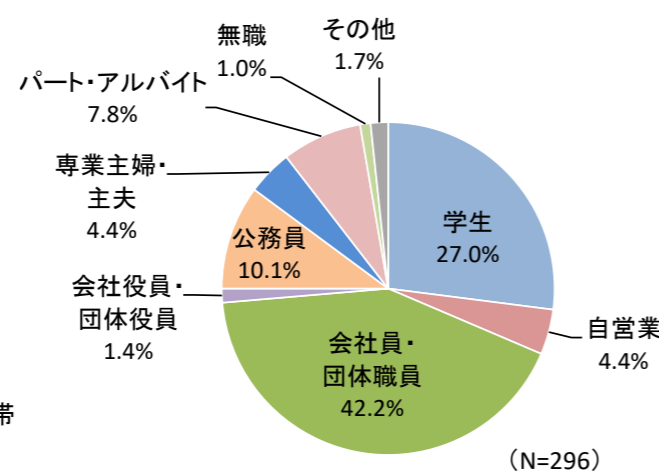
#### <島を離れた年数(通年)>



#### <家族構成>



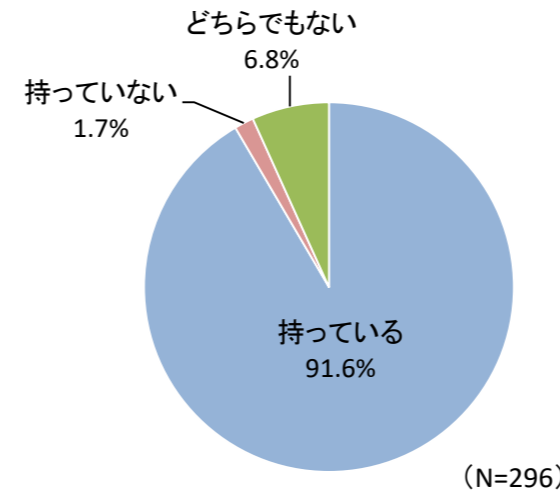
#### <職業>



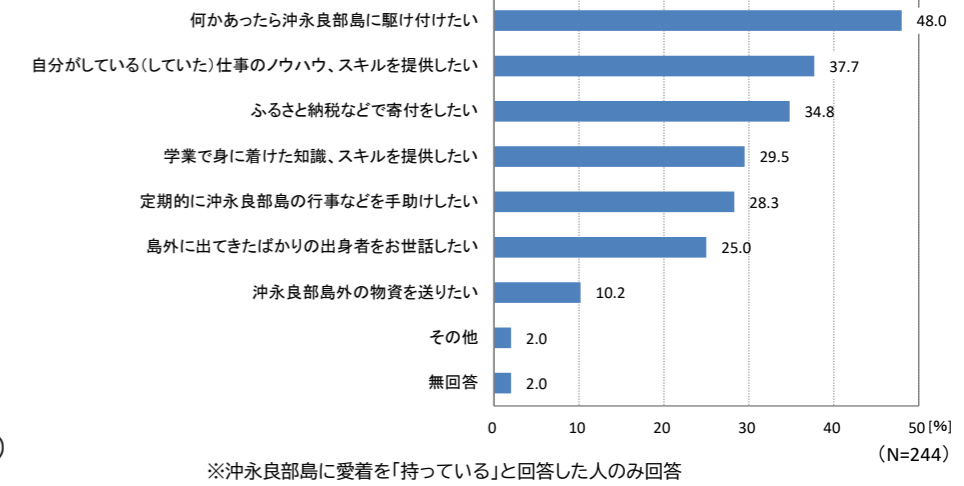
## 2 沖永良部島への愛着度

- 沖永良部島への愛着度と島への貢献意識などについて伺った。

### ① 沖永良部島への愛着度



### ② 沖永良部島への貢献内容

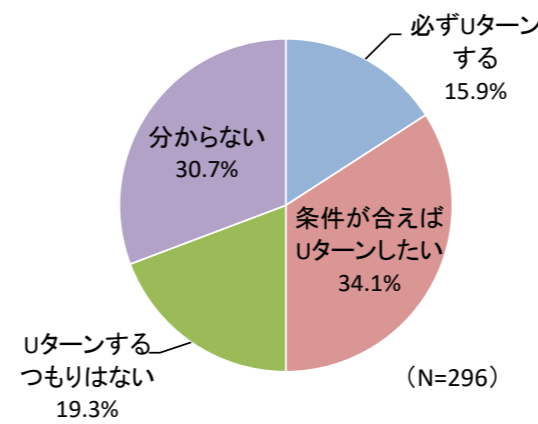


- 沖永良部島に愛着を「持っている」は9割超。島への貢献内容として「何かあったら沖永良部島に駆け付けたい」が約5割と最多で、自分の仕事のノウハウやスキルの提供、ふるさと納税などでの寄付も多い。

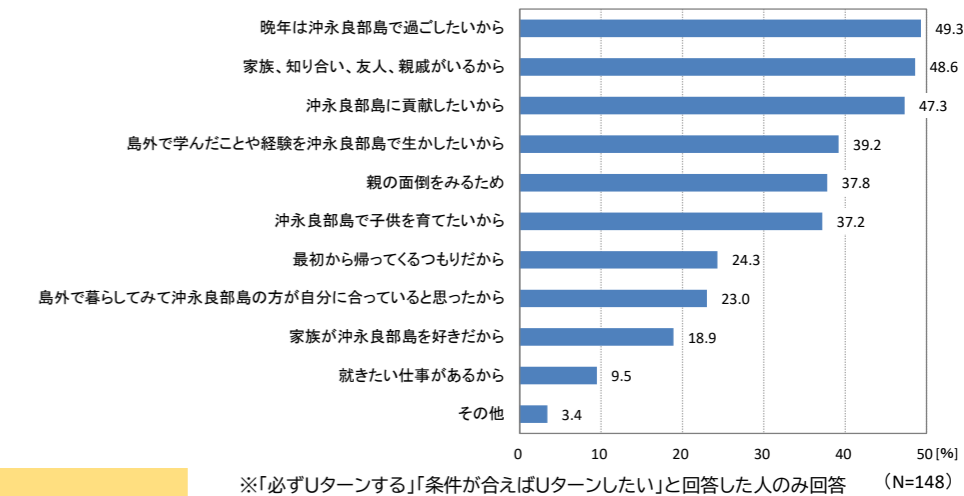
## 3 今後のUターン意向

- 今後のUターン意向、Uターンした場合の収入面の不安などについて伺った。

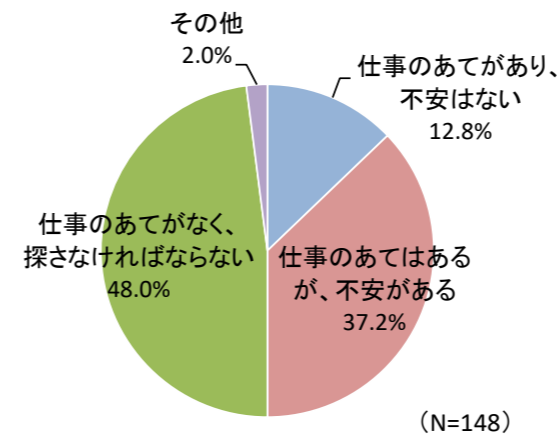
### ① 今後のUターン意向



### ② Uターンする・したい理由



### ③ Uターンした場合の収入面の不安の有無



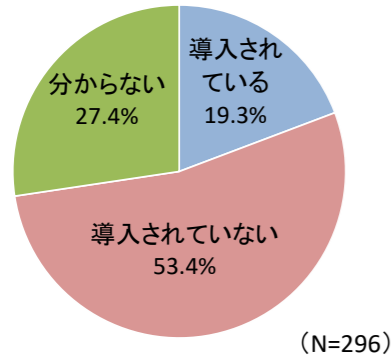
- 回答者の半数が今後のUターンに前向きな回答している。
- Uターンする・したい理由として、「晩年は沖永良部島で過ごしたいから」「家族、知り合い、友人、親戚がいるから」「沖永良部島に貢献したいから」が上位を占め、島への愛着や家族との絆の深さがうかがえる。
- Uターンした場合の収入面の不安については、約半数が「仕事のあてがなく、探さなければならない」と回答している。また、「仕事のあてはあるが、不安がある」も約4割みられる。

※「必ずUターンする」「条件が合えばUターンしたい」と回答した人のみ回答

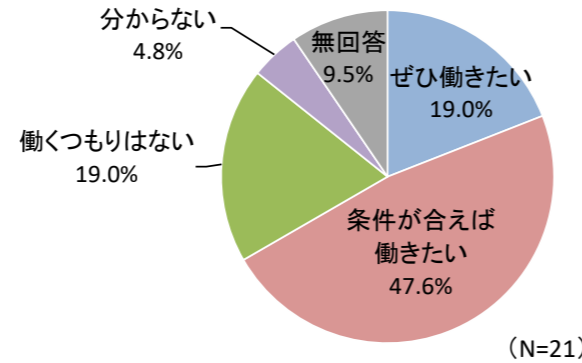
## 4 勤め先のテレワークの導入状況について

- 現在勤めている企業・団体におけるテレワークの導入状況などについて伺った。

### ①勤め先のテレワークの導入状況

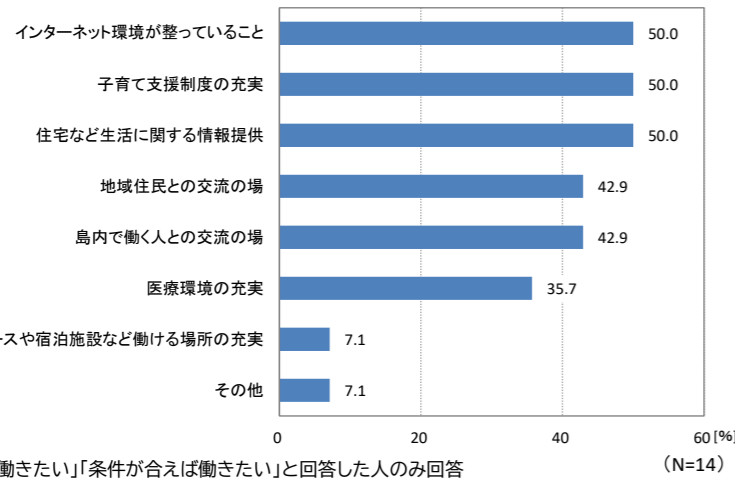


### ②沖永良部島でのテレワーク意向



※居住地以外でのテレワーク勤務が「推奨または容認されている」と回答した人のみ回答

### ③沖永良部島でテレワークをするための条件

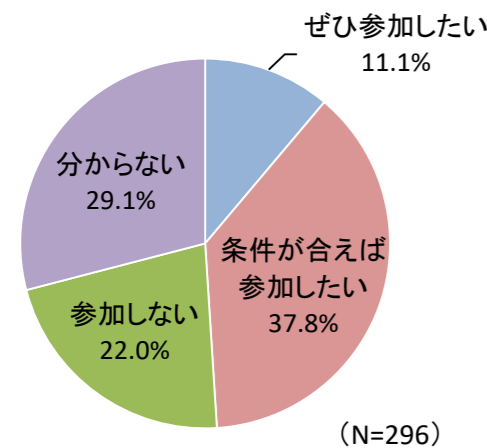


- 勤め先の企業・団体においてテレワークが「導入されている」は約2割にとどまっている。
- 居住地以外でのテレワーク勤務が容認されている人のうち、沖永良部島でのテレワークの意向は「条件が合えば働きたい」が約5割、「ぜひ働きたい」が約2割となっている。
- 沖永良部島でテレワークをするための条件として、「インターネット環境が整っていること」「子育て支援制度の充実」「住宅など生活に関する情報提供」が上位を占めている。

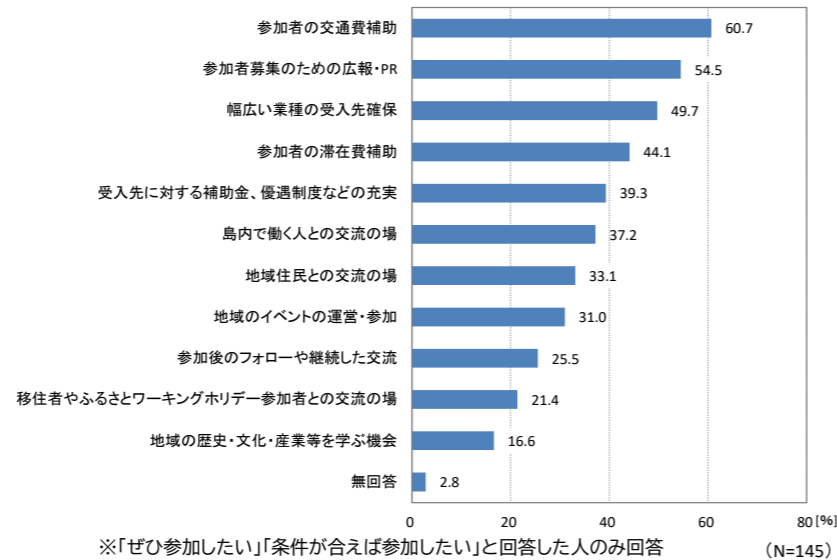
## 5 ふるさとワーキングホリデーについて

- ふるさとワーキングホリデーへの参加意向や行政に期待することについて伺った。

### ①ふるさとワーキングホリデーへの参加意向



### ②行政に期待すること

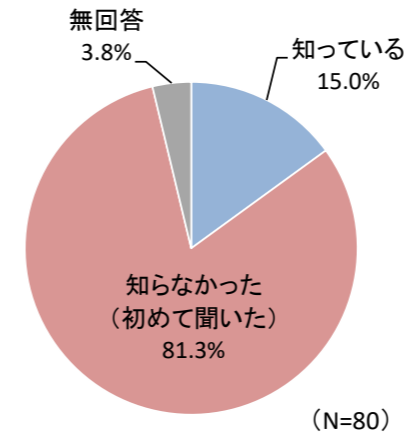


- 回答者の約半数がふるさとワーキングホリデーへの参加に前向きな回答。
- ふるさとワーキングホリデーに関して行政に期待することとして、「参加者の交通費補助」「参加者募集のための広報・PR」「幅広い業種の受入先確保」が上位を占めている。

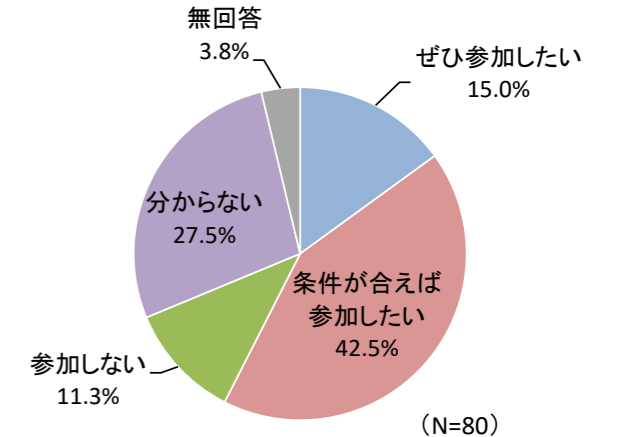
## 6 インターンシップについて

- 現在、学生の方を対象に、和泊町のインターンシップ助成制度の認知度や町内でのインターンシップへの参加意向などについて伺った。

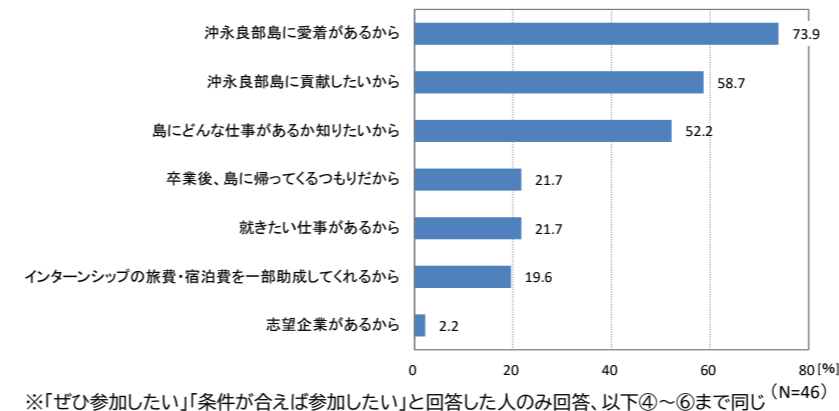
### ①和泊町のインターンシップ助成制度の認知度



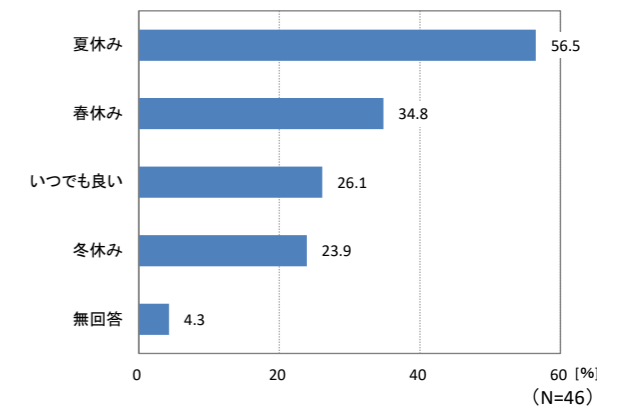
### ②和泊町内でのインターンシップへの参加意向



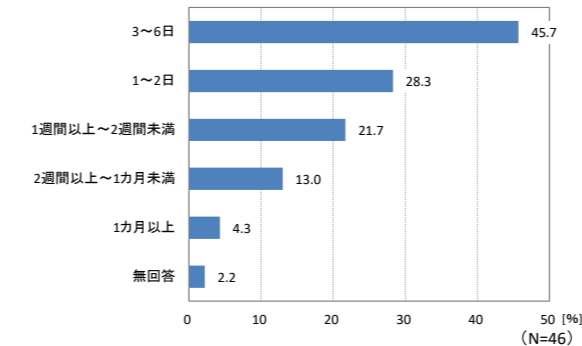
### ③和泊町内でのインターンシップに参加したい理由



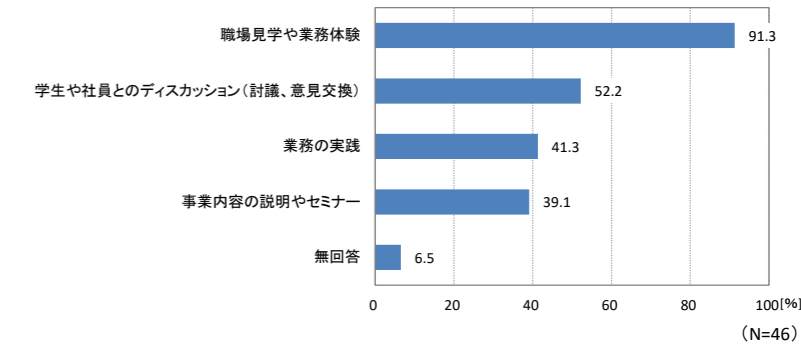
### ④インターンシップに参加したい(しやすい)時期



### ⑤インターンシップに参加したい(しやすい)期間



### ⑥参加したいインターンシップの内容



- 和泊町のインターンシップ助成制度について、「知らなかった(初めて聞いた)」が約8割を占めている。
- 和泊町内でのインターンシップへの参加意向として、約6割が前向きな回答。
- 参加したい理由として、「沖永良部島に愛着があるから」「沖永良部島に貢献したいから」「島にどんな仕事があるか知りたいから」が上位を占めている。
- 参加したい(しやすい)時期は「夏休み」、参加したい(しやすい)期間は「3~6日」がそれぞれ最も多い。
- 参加したいインターンシップの内容は「職場見学や業務体験」が突出して多い。
- インターンシップに関して行政に期待することとして、「参加者募集のための広報・PR」「島内で働く人との交流の場」「幅広い業種の受入先の確保」が上位を占めている。